

平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名 株式会社 正興電機製作所
 コード番号 6653 URL <http://www.seiko-denki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 新納 洋
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日

上場取引所 福

TEL 092-473-8831

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年12月期第3四半期 | 11,002 | | 289 | | 284 | | 326 | |
| 20年12月期第3四半期 | 11,196 | 6.5 | 834 | | 846 | | 800 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年12月期第3四半期 | 30.66 | |
| 20年12月期第3四半期 | 75.20 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年12月期第3四半期 | 12,203 | 4,272 | 35.0 | 401.79 |
| 20年12月期 | 15,145 | 4,753 | 31.2 | 444.30 |

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 4,272百万円 20年12月期 4,725百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|-----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年12月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 |
| 21年12月期 | | 0.00 | | | |
| 21年12月期 (予想) | | | | | |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年12月期の期末の配当予想額については、未定です。

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 17,500 | 0.4 | 300 | | 250 | | 150 | | 14.11 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|--------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年12月期第3四半期 | 11,953,695株 | 20年12月期 | 11,953,695株 |
| 期末自己株式数 | 21年12月期第3四半期 | 1,320,965株 | 20年12月期 | 1,318,860株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年12月期第3四半期 | 10,633,680株 | 20年12月期第3四半期 | 10,642,149株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

・配当金につきましては「株主様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識し、継続的な安定配当を基本にしつつ、業績に応じた経営の成果を迅速に株主様に還元すること」を基本方針といたしております。また、市場競争力の維持や新規事業展開、研究開発のための内部留保の確保を念頭に、財政状態、利益水準等を総合的に勘案して決定することとしております。平成21年12月期の配当予想額は、現時点では未定であり、決定したい速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、アジア向けを中心に輸出は持ち直しているものの、昨年秋以降の世界的な金融危機による不況の影響により企業収益の悪化や個人消費の低迷等が継続しており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

電機業界におきましても、国内外の経済減速の影響を受け、設備投資の抑制など事業環境が厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、今年度からスタートした新中期3ヵ年経営計画(CHALLENGE SEIKO IC 2011)のもと”持続的な高収益を目指して、『経営革新(Innovation)と利益創造(Creation)』に挑戦する”をテーマに4つの重点課題(お客様第一の事業運営の推進、 経営基盤の構築と高収益化の実現、 CSR経営の推進、 人材の育成)を掲げ、経済悪化に対し強い企業体質へ向けた施策を講ずるとともに、「環境・エネルギーソリューション」に向けた事業展開を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの受注高は、11,774百万円、売上高は11,002百万円、損益につきましては、営業損失は289百万円、経常損失は284百万円、四半期純損失は326百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

(電力システム事業)

配電自動化システムや工務系計算機システムのリプレース・メンテナンス市場に注力してまいりました結果、受注高は3,932百万円、売上高は2,872百万円となりました。

(社会システム事業)

国内の産業会社向け受変電システム市場の環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、首都圏を中心に官公庁向け監視制御システム関連の受注は、堅調に推移いたしました結果、受注高は4,896百万円、売上高は5,030百万円となりました。

(情報システム事業)

システム運用サービス、ASPといったサービス事業や業務システム関連を中心に営業展開を進めてまいりました結果、受注高は1,251百万円、売上高は1,253百万円となりました。

(情報・制御コンポーネント事業)

半導体市場については、一部好転はあるものの設備投資については厳しい状況が続いており、受注高は863百万円、売上高は805百万円となりました。

(その他事業)

環境・省エネを基軸としたサービス事業に取り組んでまいりましたが、産業関連の設備投資抑制などにより、受注高は830百万円、売上高は1,039百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末と比較して2,567百万円減少し、7,306百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,787百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末と比較して374百万円減少し、4,896百万円となりました。これは主に、有形固定資産が減価償却等により199百万円減少したことや投資有価証券が時価の下落等により109百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、前連結会計年度末と比較して2,447百万円減少し、6,015百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,565百万円減少したことや支払手形及び買掛金が1,306百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、前連結会計年度末とほぼ同額の1,916百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末と比較して481百万円減少し、4,272百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上等により利益剰余金が378百万円減少したことやその他有価証券評価差額金が時価の下落により65百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、新中期経営計画に基づき、引き続きコスト削減や品質向上を図り、企業体質強化を行うとともに「環境・エネルギーソリューション」に向けた高付加価値製品・サービスの創出に努め、更なる正興グループの価値向上に取り組んでまいります。

なお、現段階において、平成21年8月12日に公表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が78百万円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日) |
|-------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 644 | 1,048 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,788 | 6,576 |
| 有価証券 | 70 | 148 |
| 商品及び製品 | 142 | 124 |
| 仕掛品 | 2,308 | 1,611 |
| 原材料 | 190 | 199 |
| その他 | 226 | 246 |
| 貸倒引当金 | 64 | 81 |
| 流動資産合計 | 7,306 | 9,873 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,304 | 2,369 |
| その他(純額) | 1,084 | 1,219 |
| 有形固定資産合計 | 3,389 | 3,588 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 107 | 119 |
| 投資有価証券 | 1,276 | 1,386 |
| その他 | 130 | 176 |
| 貸倒引当金 | 7 | - |
| 投資その他の資産合計 | 1,400 | 1,563 |
| 固定資産合計 | 4,896 | 5,271 |
| 資産合計 | 12,203 | 15,145 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,743 | 4,050 |
| 短期借入金 | 1,805 | 3,370 |
| 未払法人税等 | 24 | 33 |
| 賞与引当金 | 171 | - |
| その他 | 1,269 | 1,008 |
| 流動負債合計 | 6,015 | 8,462 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,628 | 1,559 |
| その他 | 287 | 370 |
| 固定負債合計 | 1,916 | 1,929 |
| 負債合計 | 7,931 | 10,392 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日) |
|--------------|-------------------------------|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,323 | 2,323 |
| 資本剰余金 | 1,618 | 1,618 |
| 利益剰余金 | 894 | 1,273 |
| 自己株式 | 570 | 569 |
| 株主資本合計 | 4,264 | 4,644 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 37 | 103 |
| 為替換算調整勘定 | 30 | 23 |
| 評価・換算差額等合計 | 7 | 80 |
| 少数株主持分 | - | 28 |
| 純資産合計 | 4,272 | 4,753 |
| 負債純資産合計 | 12,203 | 15,145 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 11,002 |
| 売上原価 | 9,290 |
| 売上総利益 | 1,711 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,001 |
| 営業損失() | 289 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 0 |
| 受取配当金 | 11 |
| 受取賃貸料 | 11 |
| 貸倒引当金戻入額 | 11 |
| その他 | 10 |
| 営業外収益合計 | 45 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 19 |
| その他 | 21 |
| 営業外費用合計 | 40 |
| 経常損失() | 284 |
| 特別損失 | |
| 投資有価証券評価損 | 2 |
| 減損損失 | 14 |
| 会員権評価損 | 5 |
| 特別損失合計 | 22 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 306 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19 |
| 法人税等調整額 | 7 |
| 法人税等合計 | 26 |
| 少数株主損失() | 7 |
| 四半期純損失() | 326 |

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

| | 電力システム (百万円) | 社会システム (百万円) | 情報システム (百万円) | 情報・制御 コンポー ネント (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 2,872 | 5,030 | 1,253 | 805 | 1,039 | 11,002 | | 11,002 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 0 | 12 | 170 | 299 | 405 | 888 | (888) | |
| 計 | 2,872 | 5,043 | 1,424 | 1,105 | 1,445 | 11,891 | (888) | 11,002 |
| 営業利益又は 営業損失() | 122 | 119 | 8 | 278 | 23 | 289 | | 289 |

(注) 1 事業区分の方法は、製品の種類、製造方法及び販売市場等の類似性に基づきました。

2 各事業区分の主要な製品

(1) 電力システム.....電力制御システム、電力用開閉装置、配電自動化用電子機器、電力業務情報化

(2) 社会システム.....公共・環境システム、産業用プラントシステム、需要家向受変電システム

(3) 情報システム.....ASPサービス、システムインテグレーション、eラーニングサービス

(4) 情報・制御コンポーネント...メカトロニクス装置、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム、蓄電システム

(5) その他.....汎用電気品等

3 会計処理基準に関する事項の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、電力システム事業で48百万円、社会システム事業で16百万円、情報システム事業で11百万円、情報・制御コンポーネント事業で1百万円それぞれ減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

| 科 目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日) |
|-----------------|---|
| | 金額(百万円) |
| 売上高 | 11,196 |
| 売上原価 | 9,855 |
| 売上総利益 | 1,340 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,175 |
| 営業損失() | 834 |
| 営業外収益 | 55 |
| 営業外費用 | 67 |
| 経常損失() | 846 |
| 特別利益 | 4 |
| 特別損失 | 14 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 856 |
| 税金費用 | 31 |
| 少数株主損失() | 24 |
| 四半期純損失() | 800 |